

新型コロナウイルス感染症（ワクチン編）

★ワクチンに関する情報収集をする時は、発信元が信頼できるかどうかを確認しましょう。

ワクチンは必ず接種しなければならないの？

接種を受けることは強制ではありません。予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解し、本人が同意した場合に限り接種が行われます。アレルギーなど個人の状況により接種できない方もいます。接種しない人への差別、不利益な扱いは許されません。

接種後の反応

接種後には、体がワクチンに反応して、接種部位の痛みなどの局所反応や、発熱、頭痛などの全身性の反応が生じる可能性があります。接種は体調が悪くないときに受け、接種後はゆっくり過ごすようにしましょう。また持病がある方や過去にアナフィラキシーショックを起こしたことがある方は主治医へワクチン接種について相談しておきましょう。

接種を受ける際の費用

全額公費で接種を行うため、無料で接種できます。



ワクチンの効果

ワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

体の中である程度の抗体ができるまでには時間がかかるため、2回目の接種後から1～2週間程度は、ワクチンを受けていない方と同じくらいの頻度で発症してしまうことが論文等でも報告されています。

最近では感染力の強い変異株の出現もあり、ワクチン接種後でも十分な感染対策が必要です。

集団免疫とは

人口の一定割合以上の方が免疫を持つと、感染者が出てても他の人に感染しにくくなります。そのため感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。



厚生労働省 HP コロナワクチンナビ

<https://v-sys.mhlw.go.jp/>

もっと日本を。もっと世界へ。